

あずま^{しい}にていね

手稲中央・手稲鉄北・
稲穂金山・星置

生活支援体制整備
事業ってなあに？



春子さんと夏子さんは
こんな会話を・・・

「地域で支え合うしくみづくり」のことで。
話し相手、外出時の付添、掃除などのちょっとした
お手伝いを必要とする高齢者が、いつまでも安
心して暮らせるよう、町内会、地区福祉のまち推
進センター、民生委員・児童委員、老人クラブ、
地域包括支援センター、社会福祉法人、NPO 法
人、地域企業などが一体となった、身近な地域
での支え合いの仕組みづくりを推進し、
お互い様の地域づくりを目指していきます。



①春子「この間、いい天気だから買い物に
行こうと思ったんだけどさ。昨年
の冬に、凍った道でうっかり転ん
じゃってさ・・・。
あれから出かけるのが怖いんだわ」

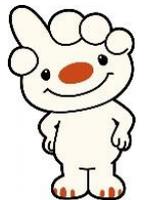
夏子「怖いよねえ」



②春子「帰りの道を荷物を持って歩くの
がきついのださ」

夏子「うちも近くのお店がなくなっ
ちゃってさ。でも遠くに住んで
いる家族に、たいしたことない買
い物のために呼べないのださ」

「そうそう！ちょっとした
ことなんだけど困ってるん
だよね～」



③春子「〇〇スーパーで買い物すると、品
物を届けてくれるサービスがある
よ。一緒に行かない？」

夏子「そういえば、買い物にちょっと困
っている人向けに、
買い物バスを走らせて
いる所があるって聞いたよ」



④春子・夏子

「地域のいろんな人が意見を出し合う
ことで、ちょっとした困りごとが
解決するような仕組みが
あるといいよね。」



こんなふうに、地域で支え合うしくみづくりを目指していきます。
地域を回って歩いている生活支援推進員に、皆さんのお声を聞かせてください。

*本会のホームページにもお役立ち情報を掲載しています。下記のように検索してください。



せいかつし えんすいしんいん 生活支援推進員

みてあるき 見て歩記

生活支援体制整備事業（地域で支え合うしくみづくり）を進めるために、地域で暮らす皆さんの、日常生活で気になること・困っている事・こんな風にしたいという事を尋ねて歩き、支え合いのお手伝いをするのが生活支援推進員です。



鉄北ひだまりサロン

【6月5日（水） 鉄北コミュニティープラザ】



今回は鉄北地区を訪問しました。

曙連合町内会・稲山連合町内会・山口団地自治会の3連合町内会・自治会が、交代で企画・進行をしているサロンです。

毎月第1水曜日の午前中に開催しています。

毎回平均15名の皆さんがつどい、手芸や生け花、時には抹茶をたててお菓子を楽しんだり、いろいろとチャレンジしておられます。

▲参加者同士、相談し合いながら問題に取り組みます。

この日は、脳トレやタングラム（パズルゲーム）に取り組んだり、ステップを踏みながらのしりとりで盛り上がり、最後はマンドリンと歌で締めくくりとなりました。

「また来月ね」と掛け合う声が印象的でした。

参加者の方からは

- 家の近くにも、集いの場があったらいいな
- 災害時に1人は心配。友達がいると安心ねというお話をいただきました。



▲手と足を同時に動かしながらのしりとり。意外と難しいものです。

担当職員より

皆さんが楽しみにして、声をかけあって集って来られる様子が伝わってきました。次回は、稲穂金山地区をご紹介します。



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会

住所 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階

電話 (011)681-2644 FAX (011)684-8650

手稲区社協ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/teine>